

News Letter 2026年3月号

成長加速化補助金 第2回公募スタート 成長投資に踏み出す前に 確認すべきポイント



経営革新等支援機関推進協議会

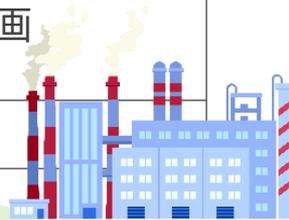
CONTENTS

- 1 成長加速化補助金第2回公募
- 2 申請の必須条件「100億宣言」
- 3 「賃上げ要件」と試算の重要性
- 4 第1回公募の採択傾向と対策
- 5 具体的な準備ステップ

① 成長加速化補助金概要

「中小企業成長加速化補助金」は、賃上げへの貢献、輸出による外需獲得、域内の仕入による地域経済への波及効果大きい売上高100億円超を目指す中小企業の大胆な投資を支援します。

補助対象者	売上高10億円以上、100億円未満の中小企業(100億円宣言を行った企業)
補助上限額	補助率最大5億円
補助率	1/2
要件	<ul style="list-style-type: none"> ・「100億宣言」を行っていること ・投資額1億円以上・一定の賃上げ要件※を満たす今後5年程度の事業計画 ※1人当たり給与支給総額4.5%以上
補助対象経費	建物費、機械装置費、ソフトウェア費、外注費等



工場、物流拠点
などの新設・増築

イノベーション創出に
向けた設備の導入

自動化による
革新的な生産性向上

①成長加速化補助金概要第2回公募



<採択を勝ち取るための3つの重要指標>

経営力	<ul style="list-style-type: none"> ①将来の売上高100億円に向けた中長期的なビジョンや計画を有し、その上で、今後5年程度の経営者の明確なシナリオ、成長余力を最大限伸張した事業戦略(売上高成長率、付加価値増加率、売上高に占める投資比率(本補助事業)) ②賃上げ・投資の持続可能性 ③外部・内部環境の分析(市場ニーズの検証、差別化戦略等) ④適切な成果目標・管理体制 ⑤グループ企業・コンソーシアムの場合は相乗効果
波及効果	<ul style="list-style-type: none"> ⑥域内仕入の拡大や地域における価値創造(サプライチェーン、ものづくり高度化、イノベーション、地域資源活用等) ⑦地域のモデル企業としての取組(取引適正化、BCP・知財・経済安全保障の対応、女性活躍等)
実現可能性	<ul style="list-style-type: none"> ⑧早期に実施可能な経営体制 ⑨財務状況(ローカルベンチマーク) ⑩金融機関の支援姿勢(財務改善・成長資金の供給方針等)

◆第2回公募

2026年2月24日(火)13:00 ~ 2026年3月26日(木)15:00(厳守)

② 申請の必須条件「100億宣言」

「100億宣言」は、中小企業が「売上高100億円」という野心的な目標を掲げ、その実現に向けた取り組みを宣言する制度です。宣言企業は、補助金・税制の活用に加え、成長志向の経営者ネットワークへの参加やポータル掲載などの支援を受けられ、飛躍的成長に向けた後押しを得ることができます。

100億宣言に必要な記載項目

- ① 企業概要(現状売上高・従業員数 など)
- ② 100億円実現の目標と課題(売上目標・達成時期・成長プロセス)
- ③ 実現に向けた具体策(生産体制強化／海外展開／M&A 等)
- ④ 実施体制
- ⑤ 経営者コミットメント(経営者メッセージ)

**「目標と課題」は
定量必須!**



② 申請の必須条件「100億宣言」

100億宣言

株式会社 百億電機（製造業）

例



主力商品 家電製造

- 本社所在地：大阪府大阪市XX区
- 事業概要：大手家電メーカーのOEM製造およびスマート家電の自社製品の製造・販売
- 常時使用する従業員：54名
(2025年3月時点)
- 現在の売上高：60億円
(2025年3月期)
- 法人番号：11111111111111
- Web：https://〇〇

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
百億 製造

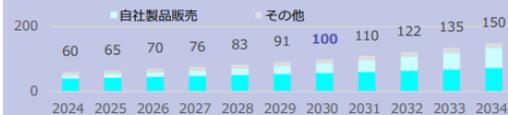
豊かなカーボンニュートラル社会の実現

百億電機は家電を通じ、ヒトの意図を察して家電が便利に連携する豊かな暮らしを実現し、出力やOn/Offをコントロールすることで社会全体が無理なくカーボンニュートラルに向かう世界を目指します。工場の環境整備や従業員の待遇改善に投資していくことで、仲間である社員を大事にしながらビジョンを達成したいと考えています。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2030年の売上高達成に向け、OEM製造の堅実な成長とともに、自社製品販売で年率20%程度の成長を目指す。



課題

- ・デザイン性の高い自社企画製品の設計・生産
- ・スマートホーム標準規格への準拠や連携機能の強化に向けたシステム開発力の強化
- ・海外、特に韓国/台湾エリアの市場開拓

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・企画におけるUXデザインやサービスデザイン手法の導入
- ・設備投資による自社企画製品の製造ライン拡大
- ・スマートホーム関連開発の内製化
- ・韓国/台湾への展示会出展や卸との協業による販売先開拓

実施体制

- ・社長直轄でのUX部署、ソフトウェア部署の立ち上げと、部長級人材を新規に雇用(26年内目標)
- ・東南アジア向け越境EC企業やジェグテックを活用した海外販売パートナーシップの拡大
- ・深圳への新たなR&Dや製造体制の立ち上げ

※本宣言は企業自身がその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

③ 「賃上げ要件」と試算の重要性

第2回公募では賃上げ要件が見直され、賃金引上げの達成がより重く扱われます。指標は「従業員1人あたり給与支給総額」で、単に人件費を増やすだけでは要件を満たせない点に注意が必要です。

2次公募からの変更点

変更点①: 役員報酬が計算から除外

変更点②: 「給与支給総額」ORに「1人あたり給与支給総額」の基準クリアが必須に



計画と実績がズレやすいポイント

- 人員の増減(採用・退職)
- 賞与の増減(業績連動)
- 残業時間の变化

④ 第1回公募の採択傾向と対策

第1回申請結果

1,270件 採択207件 採択率約16.3% 採択倍率約6.0倍

- ✓ 売上高が10億円～100億円未満の企業が中心だが、必ずしも売上高が大きい企業が有利というわけではない
- ✓ 経営者の「100億宣言」という目標の強さ、具体的な成長シナリオが評価されている

今後の対策

- 投資の狙い: 何を実現する投資か
- 成果の数値: 売上・利益・付加価値がどう伸びるか(根拠含む)
- 賃上げの裏付け: 原資をどう確保し、実行できる計画か

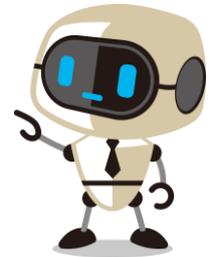


申請書では、「投資 → 成長 → 賃上げ」のつながりを一貫して整理しましょう。

⑤ 具体的な準備ステップ

基盤整備→戦略向上→計画精査→電子申請

1. GビズIDの取得・再確認
2. 「100億宣言」の策定と公表(**最優先!**)
3. 財務シミュレーション(賃上げ・投資)
4. 電子申請の実施(5月8日17時締切)



成長加速化補助金は100億円を本気で目指す企業にとって有力な成長加速ツールです。申請にあたっては、宣言との一貫性、実現可能な成長戦略、賃上げ計画の妥当性を十分に精査した上で判断することが重要です。

最後までご覧いただき ありがとうございました

▼▼今回の内容の公的サイトリンクは概要欄へ▼▼



経営革新等支援機関推進協議会